



鹿児島県プロモーション課長に就任したボクが鹿児島県を行っているさまざまな施策や取り組みについて紹介するぶー



錦江湾に国内最大規模のソーラー発電所ができたぶー!

鹿児島七ツ島メガソーラー発電所

導入進む！ 再生可能エネルギー

太陽光や水力などの再生可能エネルギーは、資源が枯渇せず繰り返し使え、発電時や熱利用時に地球温暖化の原因となる二酸化炭素をほとんど排出しない優れたエネルギーです。
鹿児島県でもさまざまな再生可能エネルギーの導入・開発が進められています。



いろんな所で利用が進んでいるんだぶー
すごいぶー



新曾木発電所取水口

いよいよ稼働
国内最大規模の
メガソーラー発電

11月はじめ、鹿児島市七ツ島に建設が進められてきた「鹿児島七ツ島メガソーラー発電所」がいよいよ稼働を開始します。大規模太陽光発電所としては国内最大規模で、出力は約7万キロワット、年間発電量は一般家庭の約2万2000世帯分に相当します。錦江湾に面した102万㎡の敷地に29万枚のソーラーパネルが並び様子はまさに圧巻。

敷地内には見学施設もあり、発電施設を一望しながら太陽光発電の仕組みや環境問題などについて分かりやすく学べる施設となっています。

県内各地で進められる 再生可能エネルギーの 導入

伊佐市では、曾木の滝の流量と落差を利用した小水力発電所「新曾木発電所」が平成25年5月から運転を開始し、一般家庭約1000世帯分の使用量にあたる400万キロワットアワー（年間）を発電しているほか、旧曾木発電所遺構と組み合わせた学習型観光と再生可能エネルギーの教育啓発活動にも活用されています。

一方、鹿屋市の交流センター「湯遊ランドあいら」では、平成23年から木質チップボイラーが導入され、重油から木質バイオマスへの燃料移行が行われました。この結果、CO₂排出量と燃料費の削減につながっています。

「県庁エコガーデン」開設

平成24年11月、県庁北駐車場屋上に「県庁エコガーデン」

がオープンしました。再生可能エネルギー製品等の常設展示場として、県内企業各社の製品の機能や特徴、導入効果のPRの場として活用されています。

さらなる導入促進に 向けて

県では、「県新エネルギー導入ビジョン」に基づき、温室効果ガス排出量の少ない太陽光発電などの導入促進を図っていますが、国によって見直しが進められているエネルギー基本計画等を踏まえて、今後、対象エネルギーの拡大や導入目標などを見直しさらなる導入促進を図ることとしています。

県庁エコガーデンで
ぼくも再生可能エネルギーを勉強するぶー

